

◎ 指示があるまで開かないこと。

(令和7年3月2日 13時30分～16時)

## 注 意 事 項

1. 試験問題の数は122問で解答時間は正味2時間30分です。
2. 解答方法は次のとおりです。
  - (1) 各問題には1から4までの4つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を(例1)では1つ、(例2)では2つ選び答案用紙に記入すること。

(例1) 問題 100 県庁所在地は | (例2) 問題 101 県庁所在地はどれか。  
どれか。

1. 栃木市
2. 川崎市
3. 神戸市
4. 倉敷市

2つ選べ。

1. 宇都宮市
2. 川崎市
3. 神戸市
4. 倉敷市

(例1)の正解は「3」であるから答案用紙の③をマークすればよい。

答案用紙①の場合

|     |   |   |   |   |
|-----|---|---|---|---|
| 100 | ① | ② | ③ | ④ |
| 100 | ① | ② | ● | ④ |

答案用紙②の場合

|     |     |
|-----|-----|
| 100 | 100 |
| ①   | ①   |
| ②   | ②   |
| ③   | ●   |
| ④   | ④   |

(例2)の正解は「1」と「3」であるから答案用紙の①と③をマークすればよい。

答案用紙①の場合

|     |   |   |   |   |
|-----|---|---|---|---|
| 101 | ① | ② | ③ | ④ |
| 101 | ● | ② | ● | ④ |

答案用紙②の場合

|     |     |
|-----|-----|
| 101 | 101 |
| ①   | ●   |
| ②   | ②   |
| ③   | ●   |
| ④   | ④   |

### 記入上の注意事項

- ① 答案の作成には HB の鉛筆を使用し、濃くマークすること。

良い解答の例…… ● (濃くマークすること。)

悪い解答の例…… ⊖ ⊕ ⊙ ⊗ (解答したことにならない。)

- ② 答えを修正した場合には、必ず「消しゴム」であとが残らないように完全に消すこと。鉛筆の色が残ったり ● のような消し方などをした場合は、修正したことにならないので注意すること。

- ③ (例 1) の質問には 2 つ以上解答した場合は誤りとする。

(例 2) の質問には 1 つ又は 3 つ以上解答した場合は誤りとする。

- ④ 答案用紙は折り曲げたりメモやチェック等で汚したりしないよう特に注意すること。





問題 1 WHO 憲章の前文において、「健康とは、( )的にも( )的にも( )的にも完全に良好な状態をいう」とある。

( )にあてはまらないのはどれか。

1. 環 境
2. 社 会
3. 身 体
4. 精 神

問題 2 プライマリヘルスケアが提唱されたのはどれか。

1. アルマ・アタ宣言
2. オタワ憲章
3. モントリオール議定書
4. リオデジャネイロ宣言

問題 3 コホート研究の説明で誤っているのはどれか。

1. 調査期間が短い。
2. バイアスが少ない。
3. 仮説証明が容易である。
4. 要因の有無別に疾病発生状況を調べる。

問題 4 母子保健法で規定されているのはどれか。

1. 人工妊娠中絶
2. 妊産婦健康診査
3. 健やか親子 21(第二次)
4. 被虐待児発見時の通告義務

問題 5 学校健診で小・中・高等学校に進むにつれて増加傾向にあるのはどれか。

1. う 歯
2. 耳疾患
3. 喘 息
4. 裸眼視力 1.0 未満

問題 6 糖尿病で正しいのはどれか。

1. 妊娠中は発症しない。
2. 慢性腎不全は合併症の 1 つである。
3. 我が国の大部分は 1 型糖尿病である。
4. 軽症糖尿病の治療は薬物療法が主体である。

問題 7 食中毒の届出が規定されているのはどれか。

1. 栄養士法
2. 食育基本法
3. 食品衛生法
4. 食品安全基本法

問題 8 社会福祉法規による活動はどれか。

1. 公的年金の給付
2. 生活保護の扶助
3. 労働災害の認定
4. 予防接種の実施

問題 9 再興感染症はどれか。

1. 結 核
2. エボラ出血熱
3. 新型コロナウイルス感染症
4. クロイツフェルト・ヤコブ(Creutzfeldt-Jakob)病

問題 10 機械的清拭法による手指の消毒で最初に行うのはどれか。

1. 速乾性擦式消毒薬による擦り込み
2. 酒精綿による拭き取り
3. ブラシによる手洗い
4. 流水による手洗い

問題 11 WBGT の測定に必要でないのはどれか。

1. 感覚温度
2. 乾球温度
3. 黒球温度
4. 湿球温度

問題 12 閉鎖性水域での富栄養化をもたらすのはどれか。2つ選べ。

1. 塩 素
2. 酸 素
3. 窒 素
4. リ ン

問題 13 「健康および障害」を評価する WHODAS 2.0 で、6つの領域に含まれるのはどれか。

1. 疼 痛
2. 筋 力
3. 日常活動
4. 自然環境

問題 14 CT ではやや低吸収域、MRI 拡散強調画像では鮮明な高信号域として描出される脳病巣はどれか。

1. 新しい脳出血
2. 古い脳出血
3. 新しい脳梗塞
4. 古い脳梗塞

問題 15 自発語は非流暢だが、言語理解と復唱が良好なのはどれか。

1. ブローカ失語
2. ウェルニッケ失語
3. 超皮質性運動性失語
4. 超皮質性感覚性失語

問題 16 手続き記憶にあたるのはどれか。

1. キーボードを操作する。
2. 締め切りは来月 10 日である。
3. 役場に行って申し込みをした。
4. 発行されたワンタイムパスワードは 5077 である。

問題 17 高次脳機能障害に対するリハビリテーションを行う職種はどれか。2 つ選べ。

1. 介護福祉士
2. 作業療法士
3. 社会福祉士
4. 臨床心理士

問題 18 脳卒中後の歩行訓練で使用する長下肢装具の主な目的はどれか。

1. 腰痛の軽減
2. 脚長差の補正
3. 下肢の筋力強化
4. 膝および足関節の安定化

問題 19 頸部で固定性は低いが回旋を抑制できるのはどれか。

1. 頸椎カラー
2. ハロー装具
3. ジュエット型装具
4. フィラデルフィアカラー

問題 20 脳卒中片麻痺の回復を評価するブルンストローム法で、分離運動が認められるステージはどれか。

1. 1
2. 2
3. 3
4. 4

問題 21 運動麻痺や失調などがなく要素的には動作が可能なのはなのに、実際には目的動作に障害がみられる状態はどれか。

1. 失 行
2. 失 認
3. 注意障害
4. 遂行機能障害

問題 22 ロコモティブシンドロームの有無を評価するロコチェックの7項目に含まれるのはどれか。

1. 握力が20 kg 未満である。
2. 自転車に乗ることができない。
3. 横断歩道を青信号で渡りきれない。
4. 開眼片脚起立時間が15 秒未満である。

問題 23 20 歳の男性。高速道路で自動車運転中に横転して受傷した。搬送先の病院で撮影した左上腕の単純エックス線写真(別冊 No. 1)を別に示す。左手に運動麻痺がみられ、急性期治療後も麻痺は残存している。

使用すべき装具はどれか。

1. 把持装具
2. 短対立装具
3. 手背屈装具
4. ナックルキャスト

|                  |
|------------------|
| 別 冊 No. 1<br>写 真 |
|------------------|

問題 24 身体の診察で最初に行うのはどれか。

1. 視 診
2. 触 診
3. 打 診
4. 聴 診

問題 25 原因と姿勢の組合せで正しいのはどれか。

1. 髄膜炎 ————— 前かがみ姿勢
2. 破傷風 ————— 後弓反張
3. 脳血管障害 ————— 脊柱後弯姿勢
4. パーキンソン(Parkinson)病 ——— マン・ウェルニッケ姿勢

問題 26 Japan Coma Scale で10 と記載される状態はどれか。

1. 見当識障害がある。
2. 普通の呼びかけで容易に開眼する。
3. 自分の名前、生年月日が言えない。
4. 大きな声または体の揺さぶりで開眼する。

問題 27 神経麻痺の写真(別冊 No. 2)を別に示す。障害されている神経はどれか。

1. 腋窩神経
2. 尺骨神経
3. 正中神経
4. 橈骨神経

|                  |
|------------------|
| 別 冊 No. 2<br>写 真 |
|------------------|

問題 28 腸管にガスが貯留しているときの打診音はどれか。

1. 鼓 音
2. 清 音
3. 濁 音
4. 摩擦音

問題 29 体温が最も高い部位はどれか。

1. 腋 窩
2. 口腔内
3. 前額部
4. 直腸内

問題 30 アキレス腱反射が減弱するのはどれか。

1. 脳梗塞
2. 多発性硬化症
3. 変形性頸椎症
4. ギラン・バレー (Guillain-Barré) 症候群

問題 31 十二指腸潰瘍でみられるのはどれか。

1. 嚥下困難
2. 食後の上腹部痛
3. 鮮血を伴う下痢便
4. ヘリコバクター・ピロリ菌感染

問題 32 肺癌で誤っているのはどれか。

1. 男性に多い。
2. 好発年齢は 40 ～ 50 歳代である。
3. 腫瘍マーカーは診断の補助として用いる。
4. 治療に免疫チェックポイント阻害薬が使われる。

問題 33 肥満を呈するのはどれか。

1. アジソン(Addison)病
2. 褐色細胞腫
3. クッシング(Cushing)症候群
4. 先端巨大症

問題 34 高血圧症で正しいのはどれか。

1. 拡張期血圧が 90 mmHg 以上は高血圧である。
2. 収縮期血圧が 120 mmHg 以上は高血圧である。
3. 家庭血圧は診察室血圧よりも高くなりやすい。
4. 本態性高血圧症は高血圧患者の 40 % 以下である。

問題 35 閉塞性動脈硬化症でみられるのはどれか。

1. アヒル歩行
2. 間欠性跛行
3. 失調性歩行
4. 分回し歩行

問題 36 出血傾向がみられないのはどれか。

1. 血友病
2. 鉄欠乏性貧血
3. 再生不良性貧血
4. 特発性血小板減少性紫斑病

問題 37 巨赤芽球性貧血の原因になるのはどれか。

1. 胃全摘出術
2. 胆嚢摘出術
3. 虫垂切除術
4. 結腸切除術

問題 38 2型糖尿病の治療で合併症予防のための HbA1c の目標値はどれか。

1. 6.0 % 未満
2. 6.5 % 未満
3. 7.0 % 未満
4. 8.0 % 未満

問題 39 関節リウマチで正しいのはどれか。

1. 腰痛をきたす。
2. 骨棘形成がみられる。
3. 遠位指節間関節に好発する。
4. 朝方に関節のこわばりが強い。

問題 40 全身性エリテマトーデスで誤っているのはどれか。

1. 高熱をきたす。
2. 顔面の紅斑がみられる。
3. 臓器障害は腎臓に多い。
4. 60 代の女性に好発する。

問題 41 デュシェンヌ (Duchenne) 型筋ジストロフィー患者が歩行不能となる年齢はどれか。

1. 3 歳
2. 10 歳
3. 20 歳
4. 30 歳

問題 42 日本神経救急学会の熱中症新分類(1998 年)でⅡ度に分類されるのはどれか。

1. 頭 痛
2. 筋肉痛
3. めまい
4. けいれん発作

問題 43 梅毒で正しいのはどれか。

1. 扁平コンジローマは口腔周囲に好発する。
2. 硬性下疳は無治療でも自然消退する。
3. バラ疹は晩期梅毒の症状である。
4. 母親から垂直感染はしない。

問題 44 40歳の男性。40.3℃の発熱、強い呼吸困難、右胸の痛みと咳を訴えて来院した。5日前から感冒症状があり、発熱とどの痛み、咳、痰が続いている。尿検査で肺炎球菌抗原陽性であった。

低値を示すのはどれか。

1. 赤 沈
2. 呼吸数
3. 末梢血好中球数
4. 血中酸素飽和度

問題 45 70歳の男性。30分前から続く激しい胸の痛みと冷や汗を訴えている。2週前から歩くときに胸の痛みを感じたが、休むと治るので放置していた。高血圧症、糖尿病、脂質異常症にて近医に通院中である。喫煙歴がある。皮膚に異常はない。

疑われるのはどれか。

1. 胆嚢炎
2. 心筋梗塞
3. 帯状疱疹
4. 尿路結石

問題 46 損傷で誤っているのはどれか。

1. 開放創の洗浄には消毒液を用いる。
2. 縫合した創は 48 時間で上皮化される。
3. Ⅲ度熱傷は皮膚全層に及ぶ損傷である。
4. 熱傷範囲の診断には 9 の法則が用いられる。

問題 47 全身感染症の原因巣に対する治療で誤っているのはどれか。

1. 切 開
2. 排 膿
3. ドレナージ
4. 留置カテーテルの洗浄

問題 48 蜂巣炎で正しいのはどれか。

1. 真菌感染が多い。
2. 境界は明瞭である。
3. 早期に切開排膿する。
4. 皮下の疎性結合織に好発する。

問題 49 輸血で誤っているのはどれか。

1. 交差適合試験では血液と輸血製剤間の抗原抗体反応を調べる。
2. 循環血液量の 3 分の 1 以上を失うと生命の危険がある。
3. 不適合輸血では発熱、呼吸困難がみられる。
4. 献血の 1 回採血量は 500 mL である。

問題 50 消毒と滅菌で誤っているのはどれか。

1. 光学レンズはガス滅菌を行う。
2. 微生物によって消毒薬の適用が異なる。
3. イソプロパノールは粘膜の消毒に用いる。
4. オートクレーブは高圧蒸気滅菌装置である。

問題 51 姑息的手術でないのはどれか。

1. 鼠径ヘルニアに対する前方修復術
2. 直腸癌に対する人工肛門造設術
3. 幽門狭窄に対する胃腸吻合術
4. 脳圧亢進に対するシャント術

問題 52 脳死と臓器移植で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 脳死とは脳幹を含む全脳の不可逆的な機能喪失の状態である。
2. 家族の同意があれば脳死下の臓器摘出は可能である。
3. 臓器移植の急性拒絶反応の時期は3週以内である。
4. 心臓移植の1年生存率は70～80％である。

問題 53 急性出血の症状で誤っているのはどれか。

1. 血圧低下
2. 全身蒼白
3. 徐脈
4. 冷汗

問題 54 心肺蘇生で誤っているのはどれか。

1. 意識、呼吸、循環の順で評価する。
2. 胸骨圧迫部位は左右の乳頭を結ぶ線の真ん中である。
3. 胸骨圧迫は1分間に100回以上のテンポで行う。
4. 除細動後は1分間蘇生を休止する。

問題 55 非高血圧性脳内出血で正しいのはどれか。

1. 被殻出血
2. 視床出血
3. 小脳出血
4. アミロイドアンギオパチー

問題 56 16歳の女子。ハチに刺された後に顔面蒼白となり意識消失した。脈拍も触知不可となった。半年前にもハチ刺傷の既往がある。

緊急で投与が必要な薬剤はどれか。

1. ドパミン
2. ドブタミン
3. アドレナリン
4. ニトログリセリン

問題 57 偽関節を生じやすいのはどれか。

1. 橈骨遠位端骨折
2. 手舟状骨骨折
3. 大腿骨転子部骨折
4. 脛骨近位端骨折

問題 58 スポーツ整形外科の対象となるのはどれか。

1. 痛 風
2. 関節リウマチ
3. 後縦靱帯骨化症
4. 変形性膝関節症

問題 59 急性化膿性骨髓炎で正しいのはどれか。

1. 成人に多い。
2. 長管骨骨幹端部に多い。
3. 連鎖球菌によるものが多い。
4. 単純エックス線像では初期から骨変化がみられる。

問題 60 離断性骨軟骨炎で誤っているのはどれか。

1. 股関節に多い。
2. 変性壊死である。
3. MRI は診断に有用である。
4. 野球をする小学生に好発する。

問題 61 軟骨無形成症で見られるのはどれか。

1. X 脚
2. 青色強膜
3. 腰椎前弯の増強
4. 解離性大動脈瘤

問題 62 骨端症と好発部位の組合せで正しいのはどれか。

1. セーバー(Sever)病 ————— 第2中足骨骨頭
2. ペルテス(Perthes)病 ————— 上腕骨骨頭
3. フライバーグ(Freiberg)病 ————— 踵骨隆起
4. キーンベック(Kienböck)病 ————— 月状骨

問題 63 深部静脈血栓症で見られるのはどれか。

1. 足爪の変形
2. チアノーゼ
3. 上下肢の血圧差
4. ホーマンズ徴候

問題 64 胸郭出口症候群の徒手検査でないのはどれか。

1. スパーリングテスト
2. アドソンテスト
3. モーリーテスト
4. ライトテスト

問題 65 頸椎症性神経根症で正しいのはどれか。

1. CRP が陽性となる。
2. 下肢の痙性が出現する。
3. cock robin position をとる。
4. ジャクソンテストが陽性となる。

問題 66 大腿骨顆部骨壊死で正しいのはどれか。

1. 若年男性に多い。
2. 外側に発症することが多い。
3. 関節裂隙に石灰化がみられる。
4. 突然の強い痛みで発症することが多い。

問題 67 76 歳の女性。重い段ボールを持ったあとから右示指が屈曲しにくいことを主訴に来院した。手指屈曲時の写真(別冊 No. 3)を別に示す。

考えられるのはどれか。

1. 側索損傷
2. 伸筋腱損傷
3. 浅指屈筋腱損傷
4. 深指屈筋腱損傷

|                  |
|------------------|
| 別 冊 No. 3<br>写 真 |
|------------------|

問題 68 患者への説明と同意で正しいのはどれか。

1. 対話によって行う。
2. 観血療法は説明しない。
3. 日常生活上の指導はしない。
4. 認知機能の低下が著しい高齢者には理解できるまで説明する。

問題 69 骨折の修復過程で反応強度が最も強いのはどれか。

1. 炎症期
2. 仮骨形成期
3. 仮骨硬化期
4. リモデリング期

問題 70 関節軟骨損傷で正しいのはどれか。

1. 初期の段階で病態を把握しやすい。
2. 直達外力による損傷が多い。
3. 自己修復能が乏しい。
4. 関節血症がみられる。

問題 71 腕神経叢外側神経束の障害で麻痺が生じるのはどれか。

1. 腋窩神経
2. 筋皮神経
3. 尺骨神経
4. 橈骨神経

問題 72 柔道整復師の後療法でないのはどれか。

1. 運動療法
2. 作業療法
3. 手技療法
4. 物理療法

問題 73 サルコペニアで正しいのはどれか。

1. 速筋を鍛える筋力トレーニングが有効である。
2. 散歩で筋肥大が得られる。
3. 筋断面積は増加する。
4. 筋線維数は増加する。

問題 74 非放射性検査はどれか。

1. PET 検査
2. 磁気共鳴画像
3. 骨シンチグラフィ
4. コンピュータ断層撮影

問題 75 高所から墜落し殿部から落ちた際に生じるのはどれか。

1. 頬骨骨折
2. 頭蓋冠骨折
3. 頭蓋底骨折
4. 眼窩底破裂骨折

問題 76 正しい組合せはどれか。

1. 軸椎関節突起間骨折 ———— ハングマン骨折
2. 椎体楔状圧迫骨折 ———— ティアドロップ骨折
3. 軸椎破裂骨折 ———— ジェファーソン(Jefferson)骨折
4. 棘突起骨折 ———— バースト骨折

問題 77 鎖骨骨折で障害される神経の神経高位はどれか。

1. C2 ～ C6
2. C5 ～ T1
3. C8 ～ T4
4. T3 ～ T7

問題 78 上腕骨顆上伸展型骨折で正しいのはどれか。

1. 高齢者に多い。
2. 上腕長は短縮する。
3. 腫脹は次第に出現する。
4. ヒューター線は乱れる。

問題 79 骨折と固定肢位の組合せで正しいのはどれか。

1. スミス(Smith) ———— 前腕回外位、手関節軽度屈曲位・軽度尺屈位
2. コーレス(Colles) ———— 前腕回内位、手関節軽度屈曲位・軽度尺屈位
3. ショウファー ———— 前腕回外位、手関節軽度伸展位・軽度橈屈位
4. 背側バートン(Barton) —— 前腕回内位、手関節軽度伸展位・軽度橈屈位

問題 80 ボクサー骨折で遠位骨片の掌側転位に関与するのはどれか。

1. 虫様筋
2. 背側骨間筋
3. 尺側手根屈筋
4. 橈側手根屈筋

問題 81 手指の中節骨掌側板付着部裂離骨折の固定肢位で正しいのはどれか。

1. MP 関節伸展位、PIP 関節屈曲位、DIP 関節伸展位
2. MP 関節伸展位、PIP 関節伸展位、DIP 関節屈曲位
3. MP 関節屈曲位、PIP 関節屈曲位、DIP 関節伸展位
4. MP 関節屈曲位、PIP 関節伸展位、DIP 関節伸展位

問題 82 槌指で正しいのはどれか。

1. 固定期間は2週とする。
2. 腱性槌指は保存療法を行う。
3. DIP 関節を軽度屈曲位で固定する。
4. 軸圧損傷では末節骨が背側に転位する。

問題 83 骨盤骨裂離骨折の好発年齢はどれか。

1. 5～8歳
2. 15～18歳
3. 25～28歳
4. 50～53歳

問題 84 大腿骨頸部骨折で正しいのはどれか。

1. 外転型骨折では下肢長は短縮する。
2. 背臥位膝伸展位で下肢挙上は可能である。
3. 他動的可動域訓練を中心とした後療法を行う。
4. 長期臥床による続発症に深部静脈血栓症がある。

問題 85 外転型足関節骨折で起こりにくいのはどれか。

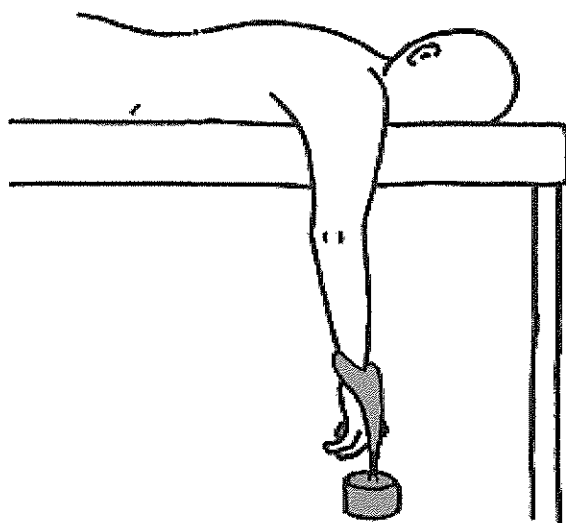
1. 三角靱帯損傷
2. 内果裂離骨折
3. 前距腓靱帯損傷
4. 遠位脛腓靱帯損傷

問題 86 顎関節脱臼でみられないのはどれか。

1. 前方脱臼
2. 側方脱臼
3. 後方脱臼
4. 下方脱臼

問題 87 図の整復法はどれか。

1. ミルヒ
2. モーテ
3. クーパー
4. スティムソン



問題 88 フォーク状変形を呈するのはどれか。

1. スミス(Smith)骨折
2. 遠位橈尺関節背側脱臼
3. 橈骨手根関節背側脱臼
4. 掌側バートン(Barton)骨折

**問題 89** 月状骨脱臼時に発現しうるのはどれか。

1. 小指球部尺側の感覚脱失
2. 感覚障害のない下垂指
3. 示指・中指の感覚鈍麻
4. 手背橈側の感覚過敏

**問題 90** 膝蓋骨脱臼で膝蓋骨の関節面が前方を向くのはどれか。

1. 外側脱臼
2. 回転脱臼
3. 垂直脱臼
4. 水平脱臼

**問題 91** 中足趾節関節脱臼で誤っているのはどれか。

1. 第1中足趾節関節の背面脱臼が多い。
2. 趾は短縮してみえる。
3. Z字型変形を呈する。
4. 固定期間は6週とする。

**問題 92** 第1中足趾節関節脱臼の徒手整復で禁忌操作はどれか。

1. 趾を足底側に押し出す。
2. 趾を遠位方向に牽引する。
3. 趾を背側屈曲位に強制する。
4. 基節骨背側基部を圧迫する。

問題 93 肋間筋損傷で正しいのはどれか。

1. 直達外力で発生する。
2. 皮下血腫は高エコー像となる。
3. 体幹を動かすと疼痛が増強する。
4. 疲労骨折との鑑別は容易である。

問題 94 腰痛に対する運動療法はどれか。2つ選べ。

1. フレンケル体操
2. バージャー体操
3. ウイリアムズ体操
4. マッケンジー体操

問題 95 尺骨神経の低位麻痺の症状でないのはどれか。

1. 鷲手
2. 骨間筋の萎縮
3. 手関節尺屈力低下
4. フローマン徴候陽性

問題 96 股関節屈曲位拘縮で陽性となるのはどれか。2つ選べ。

1. エリーテスト
2. ヒップテスト
3. トーマステスト
4. パトリックテスト

問題 97 ハムストリングスの肉離れが生じる肢位はどれか。

1. 膝関節伸展、股関節屈曲
2. 膝関節伸展、股関節伸展
3. 膝関節屈曲、股関節屈曲
4. 膝関節屈曲、股関節伸展

問題 98 障害が起こりやすいのはどれか。

1. 膝蓋上滑膜ヒダ
2. 膝蓋下滑膜ヒダ
3. 膝蓋内側滑膜ヒダ
4. 膝蓋外側滑膜ヒダ

問題 99 下腿の前方区画症候群で正しいのはどれか。

1. 長腓骨筋が障害される。
2. 足趾の底屈で疼痛が増強する。
3. 足背外側の感覚が障害される。
4. RICE 処置のうち圧迫が有効である。

問題 100 第5中足骨骨折で偽関節が生じやすいのはどれか。

1. 基 部
2. 骨幹部近位
3. 骨幹部遠位
4. 骨頭部

問題 101 ベーカー(Baker)嚢腫が発生するのはどれか。

1. 膝蓋前皮下包
2. 脛骨粗面皮下包
3. 側副靱帯滑液包
4. 腓腹筋半膜様筋包

問題 102 傷病と部位の組合せで正しいのはどれか。

1. 第1ケーラー(Köhler)病 ————— 第2中足骨骨頭
2. モートン(Morton)病 ————— 足の舟状骨
3. 二分靱帯損傷 ————— 踵立方関節背側
4. 有痛性外脛骨 ————— 脛骨下端前縁

問題 103 82歳の女性。昨晚、自宅布団の上で尻もちをついた。起床時から背部中央に痛みがあるため来所した。着座の度に痛みが強くなり、同部に叩打痛がみられる。

考えられるのはどれか。2つ選べ。

1. 圧迫骨折
2. 破裂骨折
3. 横突起骨折
4. 棘突起骨折

問題 104 72歳の女性。5日前にベッドから転落し、床で右肩を強打した。右肩外上部の腫脹と皮下出血斑に気づき来所した。右肩関節の挙上は疼痛のため困難である。後日、医科で撮影した単純エックス線写真(別冊 No. 4)を別に示す。

正しいのはどれか。

1. 頸静脈が怒張する。
2. 腋窩神経麻痺を合併する。
3. 保存療法で予後は良好である。
4. 烏口鎖骨靱帯の断裂を考慮する。

|                  |
|------------------|
| 別 冊 No. 4<br>写 真 |
|------------------|

問題 105 45歳の女性。1年前のコーレス(Colles)骨折によって、橈骨が軽度短縮転位している。1か月前からドアノブを回す際に違和感を手関節に覚え、1週前から手関節尺側に腫脹と疼痛が出現した。

考えられるのはどれか。

1. 橈尺骨癒合
2. 長母指伸筋腱断裂
3. 尺骨突き上げ症候群
4. 反射性交感神経性ジストロフィー

問題 106 24 歳の女性。スケートボード練習中に転倒して右手を衝き、手関節が伸展橈屈強制された。翌日、右手が動かしくなくなったため来所した。スナッフボックスの腫脹と圧痛、第 1・2 中手骨の骨軸方向からの軸圧痛がみられる。

正しいのはどれか。

1. 母指は MP 関節の手前まで固定する。
2. クラメル金属副子は背側にあてる。
3. 手関節は軽度屈曲(掌屈)・橈屈位で固定する。
4. 固定されていない手指は運動を積極的に行わせる。

問題 107 59 歳の女性。自宅でテレビを見ていて大きくあくびをしたところ、口を閉じることができなくなったため来所した。下顎歯列は上顎歯列の前方に偏位している。耳前方に陥凹を触れ、頬は扁平となっている。

整復で誤っているのはどれか。

1. 最初の 1 回で整復しないと整復が困難になる。
2. ヒボクラテス法では患者の頭部を前屈させる。
3. 患者に発声させないようにすると整復が容易になる。
4. ボルカース法では術者は手指消毒をして滅菌ガーゼを用いる。

問題 108 55歳の女性。自転車で走行中に転倒し、右肩を負傷して来所した。

肩峰が角状に突出し、三角筋胸筋三角の消失がみられる。

運動療法で正しいのはどれか。

1. 1週目から肩の他動運動を行う。
2. 2週目からコッドマン体操を行う。
3. 3週目から外旋・外転運動を行う。
4. 4週目から肩甲帯の筋力増強訓練を行う。

問題 109 21歳の女性。ソフトボールの試合中、捕球に失敗し右手小指を負傷した。右手小指は背側の皮膚に深い陥凹がみられ、自動的にも他動的にも動かせない。外観写真(別冊 No. 5)を別に示す。

考えられるのはどれか。

1. 終止腱断裂
2. 中央索断裂
3. 基節骨頸部骨折
4. PIP 関節背側脱臼

|                  |
|------------------|
| 別 冊 No. 5<br>写 真 |
|------------------|

問題 110 10歳の女兒。立ち幅跳びの着地で膝関節を屈曲した際に受傷した。

直後の外観写真(別冊 No. 6)を別に示す。

誤っているのはどれか。

1. 外側膝蓋支帯の断裂を伴う。
2. 後療法は内側広筋の強化を行う。
3. 皮下出血は膝蓋骨内側を中心に発生する。
4. 膝関節のアライメント異常は危険因子となる。

|                  |
|------------------|
| 別 冊 No. 6<br>写 真 |
|------------------|

問題 111 24歳の女性。事務員で一日の大半がデスクワークである。数か月前から腰痛を自覚し、痛みが徐々に強くなったため来所した。腰部は前弯が強く、後屈で痛みが増悪する。SLR 検査は陰性で、下肢の感覚異常や筋力低下はみられない。

考えられるのはどれか。

1. 腸腰筋拘縮
2. 脊柱管狭窄症
3. 変形性腰椎症
4. 椎間板ヘルニア

**問題 112** 50歳の男性。日常生活で肩関節外転時に痛みを自覚したため来所した。肩部に腫脹はないが、肩関節外転筋力が低下している。肩内旋・屈曲で痛みを訴えるが、肩外旋・屈曲あるいは肩伸展では痛みを訴えない。肘関節屈曲に対する前腕への抵抗運動では痛みを訴えない。

考えられるのはどれか。

1. SLAP 損傷
2. 棘上筋腱損傷
3. 肩甲下筋腱損傷
4. 上腕二頭筋長頭腱炎

**問題 113** 20歳の男性。体操部に所属している。つり輪の練習中に左肩部に痛みを自覚した。肩関節の挙上は違和感はあるが可能である。肩前方の短軸超音波画像(別冊 No. 7)を別に示す。

考えられるのはどれか。

1. 上腕二頭筋長頭腱炎
2. ベネット(Bennett)損傷
3. バンカート(Bankart)損傷
4. ヒル・サックス(Hill-Sachs)損傷

|                  |
|------------------|
| 別 冊 No. 7<br>写 真 |
|------------------|

問題 114 11歳の女兒。女子野球部の右投げピッチャーである。繰り返しの投球動作で右肩部に痛みを自覚していたが、徐々に悪化し安静時も痛むようになってきたため来所した。肩関節可動域は正常で、他動で痛みは増悪しない。約4週の安静を指導し痛みが消失した。

考えられるのはどれか。

1. 肩関節周囲炎
2. 棘上筋腱損傷
3. 上腕骨近位骨端線離開
4. 上腕骨大結節裂離骨折

問題 115 25歳の女性。バレーボールの社会人リーグに所属している。ブロックの際に、ボールで右母指が橈側外転強制された。2日経過しても腫れと物が持ちにくい症状が残存するため来所した。徒手検査で動揺性がみられる。

誤っているのはどれか。

1. CM関節橈側に圧痛がみられる。
2. MP関節屈曲位で動揺性を評価する。
3. 後療法ではピンチ力の筋力強化を行う。
4. 競技の復帰には観血療法が推奨される。

**問題 116** 17歳の男子。2年前から空手を始めた。1か月前に右足で蹴りの動作を行った際、右股関節部に軽度の痛みを自覚した。2週間前から痛みが強くなり、引っ掛かりを感じたため来所した。股関節を屈曲外転外旋位から伸展する際にクリックを触知する。

原因となる筋はどれか。

1. 大殿筋
2. 腸腰筋
3. 大腿直筋
4. 大腿筋膜張筋

**問題 117** 20歳の男性。短距離走で転倒し、足関節外側に疼痛を自覚したためすぐに来所した。他動的に足関節底屈あるいは背屈で足部を内がえしさせると疼痛が増悪する。さらに足部の前方引き出しで不安感が生じる。

考えられる損傷靱帯はどれか。2つ選べ。

1. 脛腓靱帯
2. 踵腓靱帯
3. 二分靱帯
4. 前距腓靱帯

問題 118 35歳の男性。ラグビーでタックルを右側から受け右膝痛を自覚したため、すぐに来所した。右膝内側に皮下出血がみられ、膝関節の不安感を訴えている。

考えられない損傷靱帯はどれか。

1. ACL
2. LCL
3. MCL
4. PCL

問題 119 19歳の女性。バレーボールの試合中、ジャンプの着地で膝が「がくっ」となって膝関節の疼痛を自覚した。医科へ搬送され、関節穿刺にて血性の関節液が採取された。

考えられるのはどれか。

1. 半月板辺縁部損傷
2. 膝蓋骨骨折
3. 外側側副靱帯損傷
4. 膝蓋腱断裂

問題 120 3歳の男児。歩容異常を祖母に指摘されたため来所した。両下腿の内反変形がみられた。医科で画像検査を行い、両側ともにFTAは186度、脛骨近位端内側に嘴様変形がみられた。外傷の既往や明らかな感染徴候はない。

考えられるのはどれか。

1. ブラント(Blount)病
2. マルファン(Marfan)症候群
3. ペレグリーニ・ステイーダ(Pellegrini-Stieda)病
4. シンディングラーセン・ヨハンソン(Sinding Larsen-Johansson)病

問題 121 75歳の女性。BMIは35である。8年前から両膝の痛みを自覚していたが、痛みが増悪してきたため来所した。両膝に発赤、腫脹、熱感はないが、荷重で痛みが増悪し、屈曲・伸展の制限がみられる。

後療法で誤っているのはどれか。

1. 揉捏法
2. 温熱療法
3. 深屈曲運動
4. 大腿四頭筋訓練

問題 122 19歳の男性。大学で野球部に所属している。入部後練習量が増え、ランニング後にアキレス腱部の痛みが生じるようになったため来所した。長軸超音波画像(別冊 No. 8)を別に示す。

正しい画像所見はどれか。

1. 骨棘がみられる。
2. 腱の肥厚がみられる。
3. 異所性骨化がみられる。
4. 腱内に血腫がみられる。

|                  |
|------------------|
| 別 冊 No. 8<br>写 真 |
|------------------|





